

【図表】 BRICS開発銀行等の概要

出資者	規模	特徴
BRICS開発銀行（新開発銀行）		
中国、ブラジル、ロシア、 インド、南アフリカ	当初資本金500億ドル 7年間1000億ドルまで増資	5カ国均等出資 本部上海 アフリカ、中南米などを支援
既存機関⇒世界銀行、1944年設立、188カ国加盟、本部ワシントン。 貸出上限額は2,000億ドル、今後10年で3,000億ドルに増強。出資比率上位は中国を除き先進国		
緊急対応準備金		
中国、ブラジル、ロシア、 インド、南アフリカ	基金規模1000億ドル	金融危機で流動性不足が起きたときに 外貨を融通
既存機関⇒IMF、1944年設立、188カ国加盟、本部ワシントン。加盟国からの出資割当額は3,680億ドル。 融資や金融システムを監督。 既存の枠組み⇒チェンマイイニシアティブ、欧州安定メカニズム		
アジア・インフラ投資銀行		
中国が東南アジア、中東などに参加を要 請。日米欧にも呼びかけ	資本金500億ドル以上。中国が約半分を拠出	アジアの港湾整備など インドが参加に前向き
既存機関⇒ADB、1966年設立、67カ国加盟、本部マニラ。応募済み資本金1,613億ドル。 貸付残高516億ドル（13年9月）		

出所:日本経済新聞等より筆者作成